



2月は、昔の呼び方では「如月」といいますが、「衣更着」と書いて、寒さのために更に衣を重ね着する月とされています。思わず体を縮めたくくなるような寒い日が続いていますが、立春を過ぎると季節は少しずつ春に近づいていきます。暖かい春が待ちどおしいですね。

2月におすすめ！ 冬の星座をながめよう

冬は空気がすんでいて、夜空の星がひときわ輝いて見えます。かぜをひかないようにじゅうぶんに暖かくして、美しい夜空をながめてみませんか？

『よだかの星』 宮沢賢治（作）中村道雄（絵） 偕成社

よだかはみにくい鳥。顔はみそをつけたようにまだらで、くちばしは平たく、耳まで裂けている。そのためよだかは鳥たちから嫌われ、いじめられていた……。よだかの星になり今でも燃え続けている。

『かならず見つかる星座の本④ 冬の星座を手でさがそう』 藤井旭（著） 偕成社

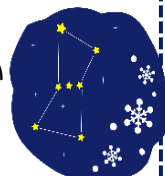
冬の星座でまず見つけたいのは、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウス、おいぬ座のシリウスで形作られる「冬の三角形」。星座図や写真で星座の見つけ方をやさしく紹介する本。

『星と星座の伝説 冬』 瀬川昌男（著） 小峰書店

日本でみられる星座は春・夏・秋・冬にわけ、それぞれの星座にまつわる伝説や神話に美しい絵をつけました。物語の主人公がどんな星になったのか夜空をながめてみよう。

『なぜ、めい王星は惑星じゃないの』 布施哲司（著） くもん出版

太陽系を構成する惑星はいくつあるのか。かつては「水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・海王星・めい王星の9個」と答えるのが正解だった。しかし現在では、めい王星がはずされてしまっているが、別に消えてしまったわけではないのだが……



絵本で学ぼう！SDGs

8 働きがいも
経済成長も



SDGsの目標8 働きがいも 経済成長も

働きがいがあり、十分な収入が得られる仕事とはどんな仕事だろう。将来、自分がどんな仕事をしたいのかを考え、いろいろ調べることから始めてみよう。

『はたらく』 長倉洋海（著） アリス館

山で羊を育て、放牧する少年。両親のかわりに市場ではたらく少女。世界各地で出会った子供たちは、生きる力にあふれていた。「人は何のためにはたらくのか」を考えるきっかけになる写真絵本。

◆ 本でコミュニケーション

☆おすすめの本☆ (図書委員さんのおすすめ)

『注文の多い料理店』 宮沢賢治（作）島田睦子（絵） 偕成社

国語の授業で宮沢賢治について学習しました。いくつか読んだ作品の中で心に残ったのは、「注文の多い料理店」です。この本に書かれている「注文」とは、お客さんが注文するのではなく……さて、だれが注文するのでしょうか。ぜひ、読んでみてください。

